

患者ID:@PATIENTID

2008.1.13作成 2024.8.2改訂

@PATIENTNAME 様

大腸化療(Bmab+mFOLFOX6)

指示者	@USERNAME
コース数	

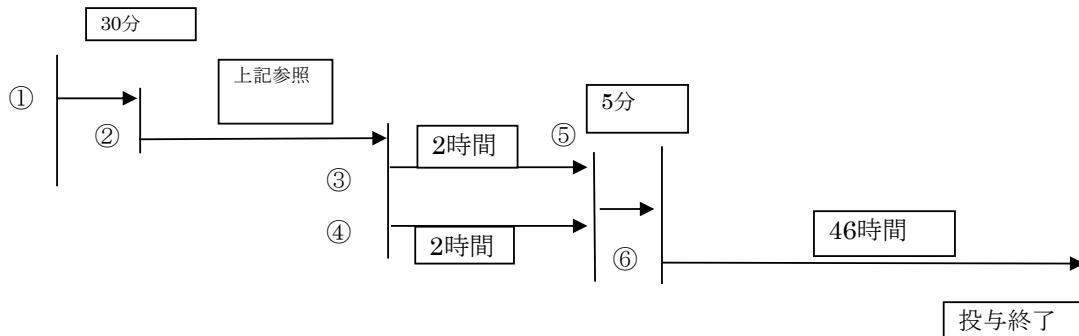
身長	HEIGHT01_Dc	cm
体重	/HEIGHT01_D	kg
体表面積	#VALUE!	m ²

(DuBoisの式)

実施印

	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	
①	グラニセトロンバッグ デカドロン3.3mg 2A プリンペラン1A	30分	点滴	
②	ベバシズマブ 5mg/kg 生食100mL (#VALUE!)mg/body 計算値	初回90分 2回目60分 3回目以降30分	点滴	
③	レボホリナート 200mg/m ² 5%ブドウ糖100mL (#VALUE!)mg/body 計算値	2時間	点滴	
④	オキサリプラチン85mg/m ² 5%糖液250mL (#VALUE!)mg/body 計算値	2時間	点滴	
⑤	5FU 400mg/m ² (#VALUE!)mg/body 計算値	5分	静注	
⑥	5FU 2400mg/m ² +生食を加え全量を230mL (処方は生食500mL) (#VALUE!)mg/body 計算値	46時間	インフューザー ⁺ ポンプLV5に入れて全量を 230mLに調製	

投与手順



注意

副作用が強い際は、原則80%量で、その時はレボホリナート、Bmab減量の必要なし。
5%糖液以外でオキサリプラチンは分解されやすい。
Bmab投与後は頻回に血圧測定を行う。
原則として手術後28日以内の投与は不可。

副作用

#NAME?

消化管穿孔1.7%、創傷治癒遅延、出血3.7%、動脈血栓症1.5～9%、静脈血栓症9.4%
高血圧性脳症・高血圧クリーゼ3.2～15%

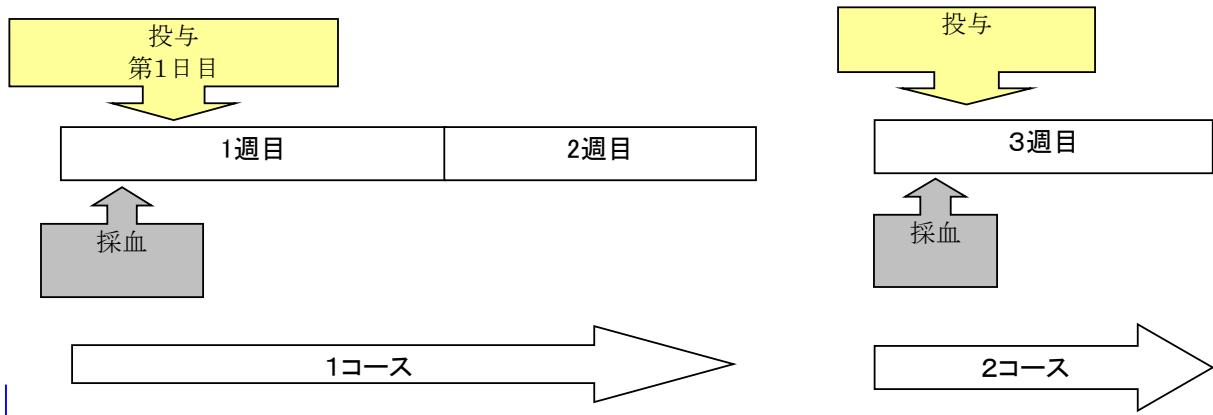
FOLFOXの副作用

末梢神経症状 82% (機能障害に至ったもの19%) 投与を重ねるごとに増していく。

白血球、好中球減少 85%

下痢56%、恶心71%、脱毛38%、疲労70%、口内炎38%

スケジュール



効果

第III相ランダム化比較試験(3200試験)

FOLFOX4 vs FOLFOX4+アバスチンの転移性大腸癌に対する二次治療の比較

	FOLFOX4群 (n=292)	FOLFOX4+アバ スチン群(n=293)	ハザード比	P値
生存期間中央値(月)	10.8	13	0.751	0.0012
無増悪生存期間中央値(月)	4.5	7.5	0.518	<0.0001
奏効率(%)	8.6	22.2		<0.0001

第III相ランダム化比較試験(NO16966試験)

投与群	無増悪生存 期間中央値 (月)	ハザード比	P値
FOLFOX4+プラセボ群(n=351)	8.57	0.89(0.73- 1.08)	0.1871
FOLFOX4+アバスチン群 (n=349)	9.4		